

特別支援教育の学術的最前線ー自閉スペクトラム症を多様なスタイルの1つと見なすー 藤野博先生(東京学芸大学教授)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

(ご紹介)



藤野 博
ふじのひろし

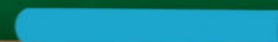
東京学芸大学大学院教育学研究科
(教職大学院) 教授

東北大学大学院教育学研究科博士前期課程修了。東北大学より博士(教育学)。

川崎医療福祉大学専任講師、東京学芸大学専任講師、同大学助教授・准教授を経て、現職。

言語聴覚士。公認心理師。臨床発達心理士スーパーバイザー。特別支援教育士スーパーバイザー

自閉スペクトラム症を主とする発達障害の子どもたちの社会的認知とコミュニケーションの発達、アセスメントおよび支援方法の研究。余暇活動を通じたコミュニケーション支援。



藤野博著『自閉症のある子どもへの言語・コミュニケーションの指導と支援』明治図書（2023年6月新刊）

第1章 自閉症のある子どものことばコミュニケーション・認知

自閉症とは？

ことばとコミュニケーションの問題

ことばとコミュニケーションの理論

こだわりと特別な興味

感覚の特徴

共同注意の問題

心の理論の問題

語りーナラティブーの特徴

弱い中枢性統合

実行機能の問題

他

第2章 自閉症のある子どものことばとコミュニケーションの支援

第3章 教室の中の自閉症のある子どもたち



2023年6月
刊行予定！

それではご覧ください

自閉スペクトラム症（ASD）と特別な興味

東京学芸大学大学院

藤野 博

自閉スペクトラム症 (Autism Spectrum Disorder, ASD)

- 社会的コミュニケーションおよび対人的相互反応における持続的な欠陥
- 行動, 興味, または活動の限定された反復的な様式

American Psychiatric Association(著)高橋三郎・大野 裕(監訳)
「DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル」(医学書院)

強迫的興味／自閉的興味

■ Kanner(1943)

- 自動車運搬列車, 煙突, 振り子などに夢中になる子どもの例を挙げ, 親の表現を借りてその状態を「強迫的興味 (obsessive interest)」と記述した

L・カナー(著), 十亀史郎ほか(訳)「幼児自閉症の研究」黎明書房

● Asperger(1944)

- 自然科学, 毒薬, 数, 機械装置などに興味をもつ子どもを報告し, 「自閉的興味」の現実離れした様相を指摘した

ハンス・アスペルガー「子供の『自閉的精神病質』」(ウタ・フリス(編著), 富田真紀(訳)「自閉症とアスペルガー症候群」)東京書籍

ASD者の特別な興味と発達への影響

- 病的な行動特徴として捉えられてきた特定の対象に対する強い興味は近年、「特別な興味(special Interests)」として中立的に扱われるようになった

【ネガティブな影響】

- 興味の対象に没頭することで、他者との交流の時間が減る (Klin et al., 2007)
- 特別な興味に費やした時間の長さの主観的ウェルビーイングとの間には負の相関があった (Groove et al., 2018)

【ポジティブな影響】

- ASD者は特別な興味を通して周囲の世界を理解する (Klin et al., 2007)
- 特別な興味によって得られる知識は就労につながる (Attwood, 2003)
- 特別な興味をもつ人は余暇活動に満足を感じている (Groove et al., 2018)

ASD当事者の手記にみる特別な興味

- 「僕は常に、細かいところに注意を払ってきた」
- 「僕には並外れた集中力がある。ある機械装置を調べて、それを自分にとっての全世界とすることができる」
- 「並外れた集中力は知識に支えられたものであり、その知識は心理学者が言うところの“特別な興味”から生まれたものだ」

ジョン・エルダー・ロビンソン(著), 藤井良江(訳),
「変わり者でいこう:あるアスペルガー者の冒険」(東京書籍)

フロー

- その瞬間に行っていることへのきわめて限定した集中
(Nakamura&Csikszentmihalyi, 2002)
- 最適経験の基本要素は、それ自体が目的であるということである。たとえ初めは他の理由で企てられたとしても、我々を夢中にさせる活動は内発的報酬をもたらすようになる (Csikszentmihalyi, 1990)

M. チクセントミハイ(著), 今村浩明(訳)「フロー体験:喜びの現象学」(世界思想社)

自閉スペクトラム者の特別な興味と動機づけ

- 自閉スペクトラム群は統制群よりも内発的な興味と知識、エンゲージメント(打ち込めるもの)とフロー(没入経験)の因子で高いスコアを示し、内発的要因によって強く動機づけられていることが示唆された
- 外発的動機は特別な興味に大きな役割を果たしていない

Groove, R., Roth, I, & Hoekstra, A. (2016) The motivation for special interests in individual with autism and controls: Development and validation of the special interest motivation scale. *Autism Research*, 9, 677-688.

自閉症の人の特別な興味とウェルビーイング

- 特別な興味をもつ人と持たない人の主観的ウェルビーイングに有意な差はなかった
- パーソナルな生活の価値観と目標, エンゲージメントとフローは, ウェルビーイングにつながる

Grove et al. (2018) Special interests and subjective wellbeing in autistic adults. *Autism Research*, 11, 766-775.

自閉的共感性 (Autistic Empathy)

- Komeda et al. (2015)は、自閉スペクトラムの特性をもつ人は同じタイプの人に対して共感的な反応を示すことを脳機能の測定から明らかにした
- この現象は類似性仮説という観点から説明されている
- この仮説は、自閉スペクトラムの人たち同士の交流の場が、共感的経験を積むうえで重要な役割を果たすことを示唆する

Komeda et al. (2015). Autistic empathy toward autistic others. *Social Cognitive and Affective Neuroscience*, 10, 145-152.

自閉症に特化したQOL

1. 重要な決断をするときに十分なサポートは得られますか？
2. 友人や親しい人といるときに「あなた自身」になれるか？
3. 金銭面の安心感がありますか？
4. 問題に対処するために十分なサポートが必要なときに得られますか？
5. 現在の友人関係に満足していますか？
6. 健康サービスへのアクセスにバリアを感じますか？
7. 環境と感覚の問題で、やりたいことをするのが難しくなっていませんか？
8. あなたのニーズが公的状況で満たされることにバリアを感じますか？
9. 自分のアイデンティティの一側面として「自閉症」であることはOKですか？

McConachie et al. (2018) Enhancing the validity of a quality of life measure for autistic people. *JADD*, 48, 1596-1611.

神経多様性 (Neurodiversity)

- ASD当事者家族の社会学者が提唱(Singer, 1999)
- ASDを「病」ではなく、個人のアイデンティティを構成するものとする(Fenton & Krahn, 2007)
- ASDの特性は認知スタイルとして見ることもできる(Happé, 1999)

共通の興味による支援

- 日戸ら(2010)は, 共通の興味を媒介とした仲間関係形成のための支援プログラムを開発
- 関心事を披露し, 仲間同士で互いの関心事を共有する活動
- 一定期間後の聞き取り調査において, 100名の調査対象者のほとんどは同じメンバーでまた集まりたいとコメント
- 56名は親のサポートのもとで同じメンバーで集いを継続し, うち28名は3年以上にわたって関係を維持

日戸由刈ほか(2010)アスペルガー症候群の学齡児に対する社会参加支援の新しい方略
ー共通の興味を媒介とした本人同士の仲間関係形成と親のサポート体制づくり.
精神医学, 52, 1049-1056.

趣味トーク活動

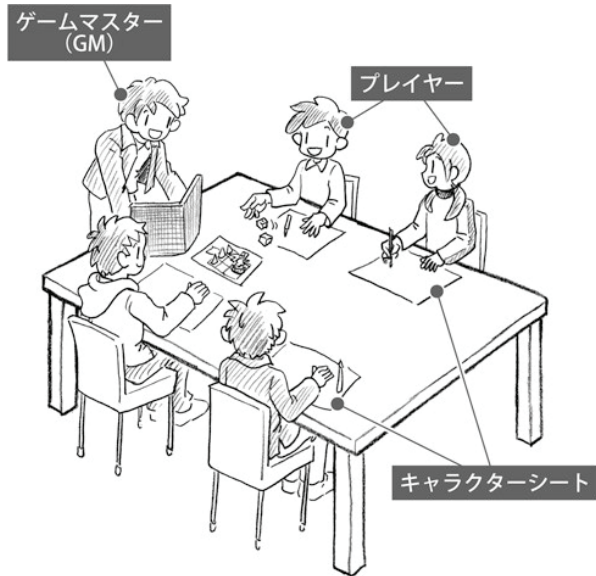
- 日戸ら(2010)の方法に基づいて趣味トーク活動を行った
 - テーブルを囲んで着席できるように設定した
 - 子どもには自分の関心のある具体物を見せたいものとして持参させるように伝えた
 - 趣味の時間は交代で自分の趣味について語る時間であることを説明した
 - 以下の四つのマナーを守るよう伝えた
- ① 人の話は最後まで聞く
 - ② 知っている話でも最後まで付き合う
 - ③ 意見・質問は話のあとにする
 - ④ 見たいときは見せてと言う

趣味トークの感想

- 授業や学校で話をするのはストレスだけど, 好きなことを話すのは楽。しゃべるのが好きだし, 聞いてくれる相手がいるのが嬉しい
- 相手の好きなことや状況に合わせて話すことを学べたと思う
- (学校や家庭では)自分の好きなことを熱く語ってもうんざりされてしまうけど, (趣味トークでは)うんざりされないのが良かった
- 好きなことを安心して熱く語れるのが良かった
- 物を持って来て, それについて話すのは話がしやすかった
- 自分にとって「趣味トーク」はオアシスのような場所
- 趣味が合った場合, たとえば「ポケモン」とかは一致団結して楽しめる
- 自分の好きなものを話せという授業(英語など)はあるけど, そういうときにはサブカルなものは話せない

加藤浩平・岩岡朋生・藤野博(2019)自閉スペクトラム症児の会話の特徴と話題との関連ーアニメ・漫画・ゲームを題材にした「趣味トーク」の実践ー. 東京学芸大学紀要 総合教育科学系 I , 70, 489-497.

テーブルトーク・ロールプレイングゲーム (TRPG)



キャラクターシート				プレイヤー名					
キャラクター名	性別	職業 (ジョブ)	レベル						
ジェローム	男	戦士	1						
キャラクターの身長	経験値 (EXP)								
	経験値 0 / 1000								
キャラクターの特徴									
目の色	グリーン								
髪の色	レッドブラウン								
身長	173	cm							
好きなもの	甘いもの								
嫌いなもの	へビ								
HP	10 / 10	最大HP	MP	2 / 2	最大MP				
能力値	筋力 18	修正値 +3	特殊攻撃	15					
知識	8	修正値 -1	格闘						
精神	10	修正値 0	魔法格闘	12					
敏捷	13	修正値 +1	能力名						
特殊能力の詳細 (覚えていた魔法・盗聴の技など)				成功値					

武器名	命中値	ダメージ (+ (威力修正値))
ブロードソード	18	1D8 +3

*必殺技判定時の命中値「威力」/ 格闘器具の命中値「格闘」

防具名	防具の格闘値	防御力
チェインメイル	5	格闘の防御力 6
シールド	+1	魔法の防御力 1
		合計値 7

道具	
バックパック	
たいまつ x1	
ロープ x5m	
水筒	
保存食 x3B分	
所持品	5 ゴールド

メモ

- 参加者同士の会話のやり取りで、物語を進めて行くことを楽しむゲーム
- 参加者は、ルールに従い、キャラクター(物語の登場人物)を作成する
- キャラクターを演じることで物語に参加する

加藤浩平 (2016) テーブルトークロールプレイングゲーム (TRPG) を活用した社会的コミュニケーションの支援. 藤野博 (編著) 「発達障害のある子の社会性とコミュニケーションの支援」 (金子書房)

TRPG参加者の声

- TRPGは笑いの絶えない活動だった
- TRPGは楽しかった。やっているときは笑いも多かった
- TRPGの後に「こういうのが良かったよね」という話題で雑談ができる。それで自然と話せるようになった
- TRPGを体験してから、前よりも会話することが楽しくなった

加藤浩平・藤野博(2016)TRPGはASD児のQOLを高めるか? 東京学芸大学紀要 総合教育科学系, 67(2), 215-221.

同じ特徴をもつ仲間グループの意義

- 無理なく, 気楽に付き合える友人ができる
- 失敗を気にせず, 安心してチャレンジできる
- 仲間との間で成功経験が積める

特別な興味の観点からの支援の展望

- 特別な興味は学習と対人関係の起点になる
- 内発的な動機に基づく興味は生涯発達を支える
- 興味を共有できる仲間との交流はQOLを高める
- 自尊心と自己決定を尊重した支援を

特別な興味に基づく余暇活動支援の意義

- 特別な興味は学習と対人関係の起点になる
- 内発的な動機に基づく興味は生涯発達を支える
- 興味を共有できる仲間との交流はQOLを高める